

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

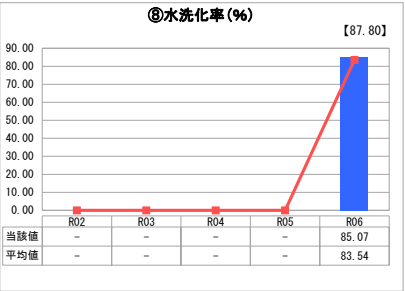
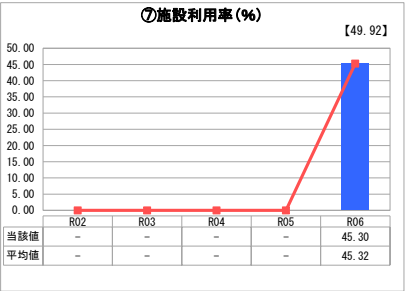
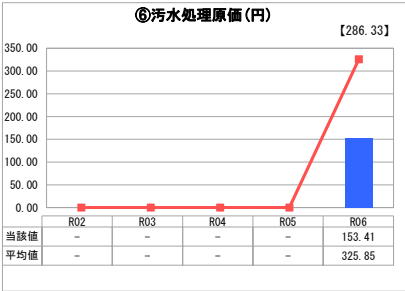
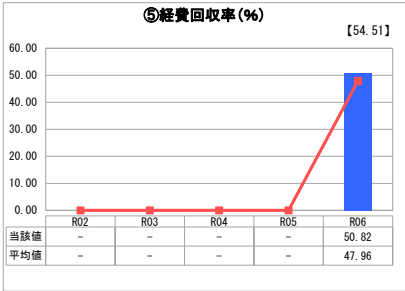
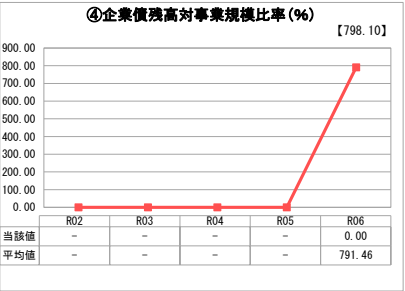
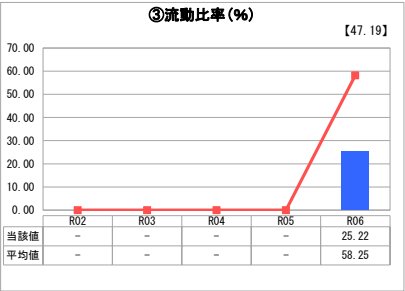
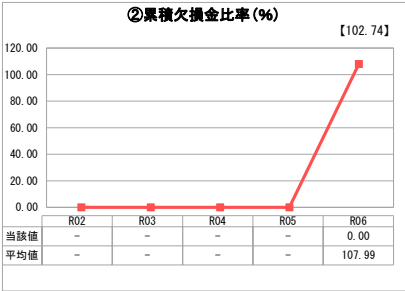
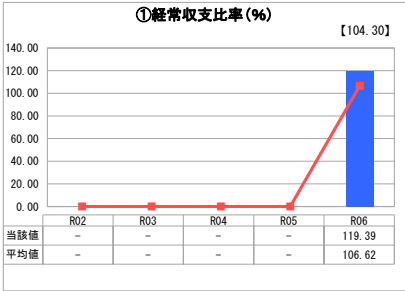
群馬県 昭和村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	78.17	70.52	100.00	2,530

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,938	64.14	108.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,869	1.84	2,646.20

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①物価高騰対策で料金の減免をしたことにより、料金収入は減額し、100%を上回っているが、今後も健全な経営を続けていくための努力をしたい。  
②累積欠損金は発生していない。  
③全国平均及び類似団体平均の数値を下回る低い水準であるので、将来的には使用料体系の見直しを行っていく必要がある。  
④企業債残高対事業規模比率について、企業債償還金は一般会計からの繰入金で全額を賄っているため、0%である。  
⑤一般会計からの繰入金の算入により類似団体平均よりも高い水準となっているが料金改定も視野に引き続き検討していきたい。  
⑥類似団体等の平均を下回っている状態であるため、更なる効率的な汚水処理実務に努める。  
⑦施設利用率は、全国平均及び類似団体平均の数値を下回っており、各施設とも村の人口が増加することを想定して設定した処理規模をもとに整備した施設であることから、村の現状に照らすと設備過剰と言える。今後も人口減少や高齢化は避けられないことから施設の統廃合について検討している。  
⑧水洗化率は、類似団体平均値よりやや高くなっているが、人口の減少や高齢者世帯の増加により今後の増加は見込まれず、頭打ちの状況となっている。特に高齢者のみの世帯では経済的負担を伴うため困難な場合が多いと思われる。

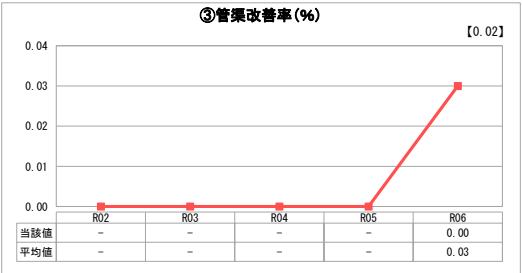
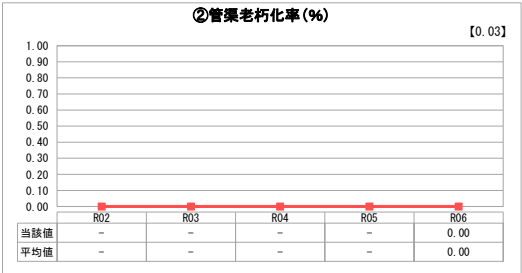
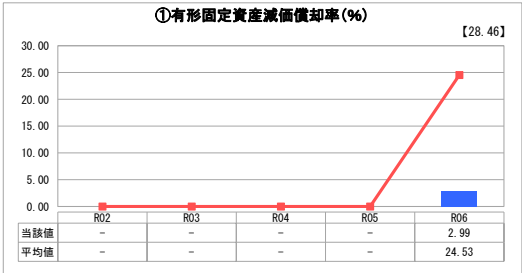
### 2. 老朽化の状況について

①法適化初年度のため、低い水準となっているが、計画的な施設更新を図って行く必要がある。  
②法定耐用年数を超えた管渠はないものの、計画的な施設更新を図って行く必要がある。  
③法定耐用年数を見極めながら更新をしていきたい。

## 全体総括

地形により4地区となっている農業集落排水事業は、その人口カバー率が70.5%で、村の下水道事業の根幹をなすものである。  
将来的には、少子高齢化による人口の減少や利用者の減少により適切な維持管理費を賄うことがますます困難になることから、施設の統廃合等を進めていく必要がある。

## 2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。